

お香に関するイベントを開催しました

(2026 年 6 月 6 日(土))

2026 年 6 月 6 日 (土)、愛媛大学城北キャンパス内にて、お香に関するイベント「その香りはどこから？インドネシアから日本へのお香の旅～沈香のお話と香道体験～」を開催しました。本イベントには、本協会の会員をはじめ、インドネシアと香道の関係や香文化に関心を持つ一般の方など計 18 名が参加しました。講師は、香十松山店代表の橋本典子さんと、愛媛大学農学研究科研究員の高松さくらさん（本協会会員）が務めました。また、橋本講師の教室に通っている 2 名のアシスタントの方にもご協力頂きました。

今回のお香のイベントは 2 部構成とし、第 1 部では「沈香の世界へようこそ～インドネシアの森からあなたの鼻先までの旅～」と題して、高松講師が研究フィールドとしているインドネシア等で採れる沈香についてその歴史、文化、産業を、実際に現地などで撮影した写真を豊富に掲載したスライドをもとに、講義しました。

つづいて、第 2 部では「はじめての聞香体験～香木のかおりを聞き分ける～」と題して、橋本講師が御家流香道の作法で香木をたき、参加者が実際にそれぞれの香りを聞き分ける（心を傾けて香りを聞く）体験を行いました。参加者は香炉を 1 つずつ計 3 つの香炉を順番に回しました。香炉が回ってくるたび、首を傾げたり、香りの違いを記憶に残そうと香りの特徴をメモに残したり、一生懸命取り組む様子が見られました。そして、3 つの香りを聞いた後、クイズ形式で 3 つの香炉の香りが全て一緒だったのか、全て違う香りだったのか、もしくは同じ香りは何番と何番だったのか、和紙で作られた手記録紙に回答しました。今回のイベントでの回答方法は、この季節のお花の名前に合わせるものでした。（全部違う香り→あやめ、1 番目、2 番目が一緒→かきつばた、1 番目、3 番目が一緒→アイリス等）

その後、参加者全員で答え合わせをしました。答えが全て合っていて、くじでの番号が早い方 3 名には執筆の方が毛筆で書いた参加者名と答え、お香会の記録が書かれた奉書を頂きました。つづく質疑応答では、お香のかおりに包まれる中、多くの参加者が 2 名の講師に質問を投げかけ、香道への関心を深めたことを感じる事が出来ました。また参加者の多くにとっては、初めての香道体験となりましたが、とても楽しんでいる様子でした。最後に、橋本講師が、臭覚を鍛えることは、認知機能低下の抑制に繋がる、お香でなくとも、普段からお花の香りやお料理の匂いなどに少し気を留めてみて下さいと締めくくりました。講座が終わった後も参加者同士で、お香を通じた会話が弾みました。

今回のお香イベントは、本協会にとっては初めて開催したイベントでしたが、受講後のアンケート結果からは参加者の高い満足度が伺えました。本協会では、今後もインドネシアの文化について広く学ぶイベントを企画していく予定です。

お香に関するイベントを開催しました (2026 年 6 月 6 日(土))

～イベントの様子～



高松講師による講義



香木のかおりを聞き分けている様子



質疑応答の様子